

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2011-2012

9 vol.3



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

国際ロータリー 第2660地区

2011~12年度ガバナー 岡部泰鑑



9 vol.3

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

CONTENTS

新世代のための月間	1
新世代のための月間に寄せて	2
意義ある業績賞について	3
大阪帝塚山RC創立記念例会・懇親会を終えて	4
2011～2012年度合同地区委員会報告	5
2011～2012年度第1回クラブ国際奉仕・WCS委員長会議報告	6
新クラブ設立の準備状況報告と新会員募集について	7
災害支援プロジェクト報告（第3回）	8
2011年7月度 会員数・出席報告	9
文庫通信	10
敬弔／お知らせ	



私がガバナーに就任しまして早3ヶ月目に入ります。9月は既に皆様ご存知の通り、『新世代のための月間』です。これは“四大奉仕”に新世代奉仕が追加されて“五大奉仕”になり、ロータリークラブは「各ロータリアンは青少年の模範」という標語を、期間中クラブ会報や広報資料に使用を奨励されています。

RIは新世代育成の重要性を折に触れて訴えています。新世代の健全な育成、ところで新世代とは何歳までいのでしょうか。それは、年齢30歳までの青少年の人達を言っており、新世代の人々の多様なニーズを考えてより良い未来へと新世代の人達に対して彼らの将来を見据えて私達が健全な方向へ導くことの重要性が特に求められています。

新世代の健全な育成を目指すための青少年プログラムとしては、

- (1) ロータリー青少年交換
- (2) ニコニコキャンプ
- (3) ローターアクト
- (4) インターアクト
- (5) RYLA (Rotary Youth Leadership Awards)

等が用意されています。

私達ロータリアンは、このようなプログラムを通じて青少年と共に将来に向かっての目標を設定し、共に楽しみ、話し合い、彼らの行動を見極めて健全な方向へと共に歩む姿勢が必要です。

では、上記(1)～(5)について簡単に説明していきます。

(1) ロータリー青少年交換 (Rotary Youth Exchange)

ロータリー青少年交換に参加する学生は、長期交換プログラムで最高で1年間、母国以外の国でホストファミリーと生活を体験し、学校へ通います。これに参加する学生は、自国の文化、自分の考えを相手国の人々に伝えると共に親善使節としての役割を果たします。

(2) ニコニコキャンプ

ローターアクトの研修の場の必要性から、ローターアクターがリーダー役となり、小学生を対象として彼らをマトメる場としてニコニコキャンプが始

まりました。今年は7月30日～8月1日まで開催されました。当地区独自のもので、大阪ロータリークラブが提唱されました。

(3) ローターアクト (Rotaract)

ローターアクトは、18歳から30歳までの青年男女のためのロータリーが提唱する奉仕クラブで地域社会または大学を基盤として、地元のロータリークラブが提唱しています。

(4) インターアクト (Interact)

奉仕と国際理解の推進に献身する12歳～18歳の学生のためにロータリークラブが提唱するクラブです。

インターアクトは、地元社会や海外のクラブと友情のネットワークを築いています。

(5) RYLA (Rotary Youth Leadership Awards)

RYLAの目的は、地域社会の若い人々の指導力および善良な市民としての資質や個人の能力を伸ばすことにロータリアンが直接関与できる『ロータリーパパ制度』を設け、研修期間中、青少年と寝食を共にし、彼らにロータリーを伝えたり、彼らの考え方を聞いたりしています。年齢は14歳～30歳までを対象としています。

私達ロータリアンは、上記プログラムを通じて青少年と直接対話することとなり、彼ら彼女らの健全な成長を見守る機会を与えられています。このことは、私達が彼ら彼女らの未来をサポートすることになり、私達の未来を彼らにゆだねることになります。彼らは厳しい目で私達を逆に見ています。私達が誠心誠意接することで彼らは心を開き、打ち解けると思っています。是非ともこのことを念頭において、多くのロータリアンがこれらのプログラムに参加して、若者達との心の交流を実感して下さい。

若者達の生きる喜びを、活力を身をもって体験されることをお奨めいたします。

なお、青少年保護法の遵守、および青少年と接する際の行動規範が厳しく謳われておりますので、ロータリアンはこれらに対しては十分の注意を払う必要があります。



9月は新世代のための月間です。従来、青少年のための奉仕部門として青少年委員会や、インターアクト、ローターアクト、青少年交換プログラムなどは社会奉仕や国際奉仕部門の一部に位置づけられていましたが、2010-11年度よりそれらを統合した「新世代奉仕」部門が設置され、五大奉仕部門の一つに位置づけられました。

ロータリー章典の新世代奉仕部門（40.050.）の冒頭に掲げられている文章です。

年齢30歳までの青少年すべてを含む新世代の多様なニーズを認識しつつ、より良い未来を確かなものとするために新世代の生活能力を高めることによって、新世代に将来への準備をさせることは、ロータリアン一人一人の責務である。すべてのクラブと地区は、健康、人間的価値、教育、自己開発といった新世代の基本的ニーズを支えるプロジェクトに取り組むよう奨励されている。

（1998年6月理事会会合、決定348号）

新世代の健全な育成を目指してロータリーには5つのプログラムが常設されています。

- ① ロータリー青少年交換
- ② ニコニコキャンプ
- ③ インターアクト
- ④ ローターアクト
- ⑤ RYLA

です。

それぞれ年齢や境遇に応じて適切なプログラムが準備されることにはなりますが、ロータリアンがこのプログラムに携わるに当たっての大切なことは、この子供たちがどのような人間に育っていったかという未来像をはっきりと持つことです。そして愛です。関心を持つことです。子供に対する愛情がなければ、せっかく捧げられた時間も、時間をかけて準備されたプログラムも無益なものとなるでしょう。愛されることによって人間は、愛する事のできる人間へと育ってゆくのです。愛情あふれるロータリアンと接することによって、人を思いやることのできる人格が形成されていくことでしょう。

RACの標語「Fellowship through Service」はすべての新世代プログラムに共通した言い得て妙の基本姿勢です。即ち、**良い友達作り**です。今、先進国で若年者死亡原因の最高位は心の病からくる自殺です。無関心の中ですからゆく心にとって、“嬉しい時に共に喜び、悲しい時に共に泣いてくれる友達”がどれほど大切かは言を待ちません。ロータリーは、次の時代を担う若者たちが健全な社会人に、そして品位ある国際人に成長してくれることを願い、先にあげた5つの新世代のためのプログラムを設け、その中で良き友達作りがなされることを願っているのです。



ロータリークラブの有意義で卓越したロータリー活動に対して、R I から「意義ある業績賞」が贈呈されます。そのために、各地区のガバナーは受賞クラブを選び、R I に選定を証明する手続きをとることになっています。地区レベルの競争であるため、また、その中から有意義なクラブ・プロジェクトを見極めるため、ガバナーが地区選考委員会を選出し、発表することが奨励されるとあります。本年度の第2660地区における選定の基準及び手続きは次の通りです。(申請手続きについては2010年版「手続要覧」P105を参照)

◇選定の基準

受賞資格を有するのはクラブのプロジェクトのみであること。また推薦できるのは地区につき1クラブのみです。既に「意義ある業績賞」を受賞したことのあるプロジェクトは重ねて業績の認証を受けることはできません。

「R I 意義ある業績賞」に推薦するプロジェクトを選定する前に、次の選定基準を満たしているかどうかを確認して下さい。

- ・プロジェクトは地元地域社会の重要な問題やニーズに取り組むもの。
- ・ほとんどのまたはすべてのクラブ会員が、単に金銭面の奉仕ではなく、自ら奉仕に参加し、クラブの規模とリソースに比例するものであること。
- ・地域社会においてロータリーのイメージを高めるものであること。
- ・他のロータリークラブが模倣できるものであること。
- ・賞が贈られるロータリー年度において、進行中または完了されたものであること。
- ・単一ロータリークラブによって実施されたものであること。

◇選定手続

地区ガバナーは8月1日までに地区選考委員を選任し、この選考委員会が表彰プロジェクトの申請書を受理することを告知する。

地区ガバナーは、その月信で選定基準(前記)と共に申請書を委員会が受理する締切日(1月31日)を公示する。推薦書式は地区ガバナーから入手できる。

地区選考委員会は2月15日までに会議を開き、5プロジェクトまでを限度として受賞候補を選び、これを3月1日までに地区ガバナーに提出する。

選考委員会が選んだ受賞候補プロジェクトの中から、地区ガバナーは地区選考委員と協議のうえ1プロジェクトを選定する。当地区の本年度の「意義ある業績賞」の提出締切日は2012年1月31日(火)とします。

なお、地区ガバナーは選定した通知が2012年3月15日までに届くようRI 会長に提出することとします。

RI から正式の認定状が送付されてくると、例年通りガバナーは地区大会でこの認定状を受賞クラブに贈呈して表彰することとします。

大阪帝塚山 RC 創立記念例会・懇親会を終えて

大阪帝塚山RC会長 西尾良一

7月6日に大阪南港のホテルハイアットリージェンシー大阪にて、大阪阿倍野RC、大阪住之江RC、大阪住吉RC、3クラブ合併による新生大阪帝塚山RCの創立記念例会と懇親会が盛大に執り行われました事を心から喜んでおります。

ご出席いただきました、RI理事の近藤雅臣様、RI第2660地区の岡部泰鑑ガバナー、ガバナーエレクト、パストガバナー、ガバナー補佐、IM8組の会長、幹事様や多数のご来賓のご臨席を賜り誠に有難うございました。中でも東日本大震災で被災された岩沼RCの会長、幹事さんのご出席には頭の下がる思いがいたしました。鹿児島友好クラブ加治木RCからは祝電を、海外からはRI第3650地区の姉妹クラブの韓国ソウル中央RCより、丁寧な日本語の祝電と生花が届けられ、その心配りに感動いたしました。同時に多数ご出席くださいました大阪帝塚山RC会員、家族の皆様方のお陰と衷心よりお礼申し上げます。

例会の点鐘は、第2454回であると同時に大阪帝塚山RC第1回である事も感慨深いものでありました。

認証状の伝達式では、RI理事の近藤様から第2660地区の岡部ガバナーに手渡され、岡部ガバナーからさらに私に伝授され、気持ちの引き締まる思いが致しました。

新生大阪帝塚山RCは会員数58名で発足致します。阿倍野RCは32年、住之江RCは36年、住吉RCは50年のそれぞれの歴史あるクラブです。合併の話が出てから3回の協議で合併の概要が決まり、1年間は3クラブの合同例会を開くことが決定しました。合併への最初の難関は、合同例会の曜日、例会場の決定ですが、ここで発揮したのが3クラブとも強い合併する意識と譲り合いの精神でした。新クラブに対する名前、会費の決定、奉仕活動状況のすり合わせ等、諸々の



決め事を、3クラブによる会長、幹事が合併委員としてご尽力下さいました。名前に関しては、従来の3クラブの名前を継承せず新しい名前で発足する事が決定。会費は「事務所の賃料、事務員の給与、事務機のリース料等」の合理化により当然安くする。安くなった分を活動費に充足する。奉仕活動は、3クラブ共に活動してきましたが、出来る限り3クラブ、奉仕活動に協力する事を前提に取り決められました。このような過程を経て新生大阪帝塚山RCが51年目に創立されました。

ガバナーの心こもった祝辞があり、方針の中に「見直しをすすめ、新たな第一歩を」提唱され、大阪帝塚山RCはまさに第一歩を歩み始めたところです。ロータリーの綱領を守り、会員間の絆を深化させ基盤の強化と会員増強に励みます。

記念例会の閉会点鐘の後は懇親会です。部屋も懇親会場に移り雰囲気も新たに和やかに行われました。オペラ歌手の公演はお祝いの席にふさわしく考慮され、鏡割りで場の雰囲気が一気に盛り上がり、乾杯の音頭をとられた斉藤昭会員の92歳のかくしゃくとした言動に勇気づけられて、会食が始まりました。RI理事の近藤雅臣氏のご祝辞の中で、会員増強は職業奉仕を基盤とした高潔なクラブであれば、おのずと入会希望者が増えるとの示唆にとんだ挨拶に深く心を動かされました。余興としてのチアリーディングは会場狭しと、躍動するはじけるような若さが圧巻でした。お楽しみ抽選会も終え参加者全員の記念写真を撮り、宴たけなわのうちに、片山副会長の中締めの挨拶で開きになりました。末尾に板垣実行委員長はじめ実行委員の皆様方の企画運営に深くお礼申し上げます。



2011～2012年度 合同地区委員会報告

地区代表幹事 境 高彦 (大阪城南 RC)



岡部G就任最初に行われる地区会合の「合同地区委員会」が7月16日大阪YMCA会館で開催されました。当日は高島GE、福家GN又、13名のPGのご出席を得て地区を構成するほとんどの出席義務者の参加を得ました。まず最初に岡部Gの「私の年度が始まりました」の第一声に始まりRIのテーマ、岡部Gの重点項目等を踏まえた挨拶があり各委員会の活発な活動と協力の要請がありました。

例年通り地区より会計・ガバナー月信・ロータリーの友に関して説明があり、本年度は特に3月11日の東日本大震災に対して地区として災害支援プロジェクトを立ち上げ、その説明と協力要請をプロジェクト委員長の井上PGがされました。

地区の最大行事である地区大会については大阪城南RCの光信大会実行委員長より11月11日・12日に開催される旨の案内がありました。

引き続き16にわたる各委員会の活動計画に対して各委員長より発表があり、詳細については当日配布された地区委員会活動計画書に記載された通りと言う事で時間の制約もありアウトラインに終始しましたが、各委員長とも要領よくまとめ上げ、時間超過のために用意されていたレッドカードならぬレッド団扇の提示もなく会議を終了しました。

当日配布された資料は各クラブにも送付されますのでクラブの会長、各委員会でご覧いただき、本年度のクラブ運営に効果的にご活用いただきますようお願い申し上げます。



2011～2012年度 第1回クラブ国際奉仕・WCS委員長会議報告

国際奉仕・WCS委員会
委員長 古澤照明(豊中RC)

7月23日(土)13時30分より薬業年金会館で今年度第1回クラブ委員長会議(参加者数合計:112名)を開催しました。まず岡部Gより開会のご挨拶を頂き、その後支援方法の変更点について下記の説明がありました。

これまで、今年度のMGは東日本大震災支援をお願いしてきました。しかし、ロータリー財団は6月30日に被災地支援のMGを廃止し、さらに「ロータリー日本・太平洋諸島地震災害復興基金」も変更し、新たに「東日本震災復興基金日本委員会」を設立しました。申請方法については、プロジェクトが被災地区のニーズを汲み取っていれば被災地区以外からも申請ができ、手続きは申請書と見積書を添付すればよいと簡単です。さらに、クラブ単独での申請が可能で、海外パートナーがなくても申請でき、これまでできなかった建築物も可能です。申請地区やクラブ拠出金がゼロでも、必要資金の100%を基金からの補助金として申請できますが、被災地以外の地区またはクラブが申請する場合は現金を拠出することが望まれます。申請は2012年12月31日まで受け付けられますが、資金が枯渇した時点で終了します。申請にはガバナーと会長の署名が必要ですので、必ず地区経由で提出をお願いします。

なお震災支援プロジェクトの資金については、次の方法があります。

- ① 東日本震災復興基金の補助金と、当地区基金、各クラブ独自の資金、海外協力クラブからの寄付金を組み合わせる。



東日本震災復興基金に申請しない場合には、

- ② 地区人道的補助金委員会にDSGを申請し、クラブ独自の資金、海外協力クラブからの寄付金を組み合わせる。
- ③ 各クラブ独自の資金、海外協力クラブからの寄付金のみで実施する。

以上の申請や資金のご相談は、地区災害支援プロジェクトが対応します。

先般、被災地支援のMGが再開されるとロータリー財団から連絡がありました。被災地支援のMGにも、通常の規定が適用され、クラブ拠出金、DDF、海外協力クラブ、50%ルール等に関して、免除事項はございません。今後当委員会は、①国内や海外向けにDDFを使用したMGの推進、②国内外のプロジェクトの紹介、③複数のクラブによるプロジェクトへの参加要請等、本来のWCS事業に戻ります。今年度のDDFの予算は65,000ドルで、1件につきMGプロジェクト最大5,000ドルまで申請できます。

以上の報告後、川田地区財団法人道的補助金委員長からR財団補助金について、吉田地区副委員長及び上場地区委員からの活動報告、糸川地区委員からWCS基金会計報告があり、高島GEの講評を頂き、岩田PGの閉会挨拶で終了しました。



新クラブ設立の準備状況報告と 新会員募集について

ガバナー 岡部 泰鑑

地区ガバナー主導で進めております新クラブ創立準備活動は、地区担当委員会において、新クラブ設立に伴う諸条件について綿密な調査と検討を行い、これまでに下記の通り決定しております。

1. 新クラブの名称

「大阪アーバン・ロータリークラブ」(仮称)
「The Osaka Urban Rotary Club」

2. 例会場

ホテルグランヴィア大阪

3. 例会日時

毎週水曜日 07:30～08:30

4. 会費

入会金：8万円

年会費：10万円(RI・地区人頭分担金。その他の義務的全必要経費、及びホテル例会場費を含みます。但し食費は1例会につき、各出席者が@ ¥1,500を負担します。)

5. 会員

創立時の会員目標数：30名

6. 今後の準備作業の予定

9月～10月：仮クラブ発足、クラブ細則作成・クラブ組織編成

10月：RIへの加盟申請

2012年1～2月：認証状伝達式、チャーターナイト

各クラブ会員の皆様より、お知り合いの方、事業所内の方など、会員候補者のご推薦を、ガバナー事務所、或いは新クラブ創立準備委員会、西口宗宏委員 TEL.06-6622-1323、FAX.06-6622-0837、E-mail(westgate@nifty.com)宛てにご連絡賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

以上

災害支援プロジェクト報告(第3回)

災害支援プロジェクト

委員長 井上 暎夫 (千里RC)

今回、東日本震災復興支援2660地区基金の運用等、東日本大震災復興支援を地区横断的に、より効果的に実施するため、災害支援プロジェクトが設置されました。(月信7月号で既に報告済み)

本月号では以下のご報告をさせていただきますのでご一読ください。

(1) 7月～8月の歩みについて

プロジェクトの業務

- ・東日本震災復興支援2660地区基金寄付金の募集および運用
- ・現地ニーズ掌握と各クラブ支援
- ・地区、各クラブの活動状況の掌握とサポート
- ・各クラブメンバーへの情報発信(ガバナー月信およびメール等)

(2) 各クラブよりの寄付金受入状況と各クラブ地区基金申請案件承認状況

(イ) 寄付金受入状況(2011年8月19日現在)

地区クラブ名および友好クラブ名(国名)		備考
松本年度の繰越(6月20～30日に入金があった前年度義援金)	848,517	
Taipei Shihlin RC(台湾)	1,184,500	(豊中南RC)
豊中南RC	5,555,556	
IM第6組	500,000	
大阪城南RC	1,000,000	
豊原北區扶輪社(台湾)	1,000,000	(大阪城南RC)
大阪そねざきRC	570,000	
東大阪RC	3,050,000	
合計	13,708,573	

(ロ) 地区基金申請案件承認状況(2011年8月19日現在)

クラブ名	プロジェクト内容	総額(円)	内地区拠出基金(円)
くずはRC	自転車・懐中電灯寄贈	779,500	579,500
東大阪東RC	殺虫剤寄贈	972,216	486,108
大阪西RC	修学旅行交通費支援	1,082,610	700,000
	合計	2,834,326	1,765,608

(ハ) 現在の地区寄付金残高 11,942,965円
(振込手数料がこの金額から差引かれます)

2011年7月度 会員数・出席報告

I M組	クラブ名	7月期初 会員数	7月 月末 会員数		入会者 数	退会者 数	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率	I M組	クラブ名	7月期初 会員数	7月 月末 会員数		入会者 数	退会者 数	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
			全員	女性										累計	累計						
I M第1組	池田	38	38	3	0	0	0	4	70.00	69.29	I M第5組	大阪中央	50	52	5	2	0	2	4	93.58	79.15
	池田くれは	29	29	1	0	0	0	3	88.04	88.04		大阪堂島	30	30	1	0	0	0	3	87.78	85.56
	箕面	27	25	1	0	2	-2	4	83.08	81.51		大阪北	189	191	0	2	0	2	4	85.35	72.76
	箕面中央	23	22	0	0	1	-1	5	90.90	85.80		大阪北梅田	49	50	3	1	0	1	3	72.48	63.76
	豊中	44	45	3	1	0	1	4	85.97	85.79		大阪西	71	71	0	0	0	0	3	92.56	83.05
	豊中南	31	31	1	0	0	0	4	83.04	75.00		大阪大淀	53	57	0	4	0	4	4	93.14	75.00
	豊中-大阪国際空港	20	20	0	0	0	0	5	65.95	65.95		大阪リバーサイド	35	35	5	0	0	0	4	90.29	77.19
	豊中千里	35	35	2	0	0	0	4	91.30	86.88		大阪西北	54	56	0	2	0	2	4	88.50	82.40
	小計	247	245	11	1	3	-2		82.29	79.78		大阪そねざき	34	40	25	6	0	6	4	99.36	90.38
I M第2組	茨木	26	27	4	1	0	1	3	94.82	85.88	大阪梅田	36	36	0	0	0	0	4	79.28	73.90	
	茨木東	41	41	4	0	0	0	4	87.08	72.20	大阪梅田東	32	33	0	1	0	1	5	80.24	72.23	
	茨木西	29	29	6	0	0	0	4	100.00	77.59	大阪ユニバーサルシティ	28	28	3	0	0	0	5	82.31	73.85	
	千里	38	38	0	0	0	0	4	90.79	82.06	小計	661	679	42	18	0	18		87.07	77.44	
	千里メイプル	26	26	2	0	0	0	4	95.10	89.22	大阪	258	260	0	2	0	2	5	74.06	59.86	
	摂津	38	40	0	2	0	2	5	93.45	78.64	大阪東	117	121	0	4	0	4	4	92.15	77.04	
	吹田	61	61	6	0	0	0	4	95.24	89.19	大阪東淀ちゃやまち	31	32	3	1	0	1	3	89.77	79.47	
	吹田江坂	39	40	3	1	0	1	4	96.58	89.56	大阪城東	47	47	5	0	0	0	5	86.11	82.16	
	吹田西	48	48	1	0	0	0	3	100.00	94.55	大阪中之島	27	27	1	0	0	0	4	95.36	85.18	
	高槻	45	45	4	0	0	0	4	86.40	80.85	大阪大手前	38	38	3	0	0	0	5	92.94	84.07	
	高槻東	39	39	0	0	0	0	5	97.52	95.33	大阪城北	55	55	2	0	0	0	4	84.89	83.87	
	高槻西	23	23	0	0	0	0	4	98.91	81.52	大阪天満橋	67	67	0	0	0	0	4	87.74	82.25	
小計	453	457	30	4	0	4		94.66	84.72	大阪鶴見	32	33	0	1	0	1	4	84.13	84.13		
I M第3組	大東	43	44	0	1	0	1	4	100.00	90.70	大阪淀川	34	34	2	0	0	0	5	88.23	78.30	
	大東中央	28	27	10	0	1	-1	3	88.30	78.94	新大阪	35	36	0	1	0	1	4	87.50	79.86	
	枚方	41	41	0	0	0	0	4	95.97	89.88	小計	741	750	16	9	0	9		87.53	79.65	
	門真	30	33	4	3	0	3	4	88.64	78.79	大阪フレンド	12	17	3	5	0	5	3	97.92	82.80	
	交野	34	33	1	0	1	-1	5	84.80	82.28	大阪本町	26	26	2	0	0	0	4	84.62	59.93	
	香里園	17	17	0	0	0	0	4	86.76	73.53	大阪御堂筋	34	34	0	0	0	0	4	85.61	70.45	
	くずは	56	57	0	1	0	1	3	77.25	74.42	大阪南	132	133	0	1	0	1	4	84.77	70.98	
	守口	44	44	3	1	1	0	3	92.78	80.78	大阪難波	44	44	0	0	0	0	4	91.13	81.25	
	守口イブニング	26	26	4	1	1	0	4	91.35	82.69	大阪なにわ	28	28	2	0	0	0	4	85.71	76.78	
	寝屋川	39	39	5	0	0	0	5	89.23	83.08	大阪南西	16	16	3	0	0	0	4	94.49	92.82	
	四條畷	12	13	0	1	0	1	4	95.46	95.46	大阪西南	86	87	13	1	0	1	4	98.17	79.31	
小計	370	374	27	8	4	4		90.05	82.78	大阪船場	41	41	0	0	0	0	3	94.00	86.00		
I M第4組	東大阪	66	66	0	0	0	0	4	91.17	82.49	大阪心齋橋	38	38	0	0	0	0	5	98.95	84.57	
	東大阪中央	36	36	0	0	0	0	3	91.66	91.66	大阪うつぼ	33	34	4	1	0	1	4	97.63	89.50	
	東大阪東	64	63	6	0	1	-1	4	84.50	72.99	小計	490	498	27	8	0	8		92.09	79.49	
	東大阪みどり	27	28	1	1	0	1	4	80.00	67.30	大阪平野	37	37	3	0	0	0	4	95.14	80.70	
	東大阪西	35	35	0	0	0	0	3	96.75	76.83	大阪イブニング	16	16	4	0	0	0	3	83.33	82.92	
	大阪柏原	30	30	3	0	0	0	4	94.37	94.37	大阪城南	55	55	0	0	0	0	5	98.00	88.70	
	大阪ネクスト	17	17	6	0	0	0	4	68.00	43.00	大阪咲洲	19	19	1	0	0	0	4	88.16	68.42	
	八尾	73	73	0	1	1	0	3	98.48	70.37	大阪天王寺	60	60	0	0	0	0	4	92.35	86.54	
	八尾中央	19	18	1	0	1	-1	3	88.24	82.35	大阪帝塚山	58	59	3	1	0	1	4	88.65	78.77	
	八尾東	23	23	3	0	0	0	5	81.90	78.31	大阪東南	50	50	0	0	0	0	4	94.00	73.00	
	小計	390	389	20	2	3	-1		87.51	75.97	小計	295	296	11	1	0	1		91.38	79.86	
合計	クラブ数	7月期初 会員数	月末 会員数	女性 会員	入会者 数	退会者 数	増減	平均 出席率	平均 出席率		合計	クラブ数	7月期初 会員数	月末 会員数	女性 会員	入会者 数	退会者 数	増減	平均 出席率	平均 出席率	
	82	3647	3688	184	51	10	41	89.1	80.0												

文庫通信 (287号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会等の記録から

- ◎「よい生き方ができる組織の増強を／地域社会と世界平和のために『挑戦』を」
田中作次 2011 2p (D.2580/D.2770)
 - ◎「RI理事会報告・財務見通し5ヵ年計画」 黒田正宏 2011 3p
(第39回ロータリー研究会報告書)
 - ◎「国際ロータリーの現状とこれからのロータリー」 小沢一彦 2011 3p (D.2560)
 - ◎「新しい長期計画とクラブの活性化」 南園義一 2011 5p (D.2780)
 - ◎「職業奉仕の原点」 深川純一 2011 3p (D.2580)
 - ◎「『地域を育み、大陸をつなぐ』の実践－国際奉仕への取り組み(シンポジウム)」
塚原房樹(コーディネーター) 2011 14p (D.2510)
 - ◎「元米山奨学生として」 徐 重仁 2011 2P (D.2780)
 - ◎「中国人から見た日本の現状」 張 旭梅〔2011〕 7P (D.2800)
- [申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館 = 午前10時～午後5時

休館 = 土・日・祝祭日

敬 弔 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

吉川忠章 会員

(東大阪東RC)

2011年7月23日逝去(享年79歳)

地区代表幹事、地区増強委員長

会長、副会長、幹事、プログラム委員長、雑誌委員長、S A A、親睦活動委員長、会計、
青少年委員長、情報委員長、会員選考委員長、会報資料委員長

ベネファクター

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

米山功労者(マルチプル)

西口 勇 会員

(守口RC)

2011年7月26日逝去(享年67歳)

米山功労者

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

葛原忠知 会員

(大阪梅田RC)

2011年8月18日逝去(享年78歳)

会長、幹事、理事、ロータリー情報委員長、国際奉仕委員長、友好委員長
職業奉仕委員長、社会奉仕委員長

米山功労者(マルチプル)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

<お知らせ>

●お詫びと訂正

月信8月号14ページ、各クラブ創立日・認証日一覧表で間違いがありましたので訂正いたします。

大阪北梅田RC 年会費 (誤) ¥150,000

(正) ¥300,000

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務局必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

月信編集委員会

- | | | |
|----------|----|----|
| ・ガバナー | 岡部 | 泰鑑 |
| ・地区代表幹事 | 境 | 高彦 |
| ・地区副代表幹事 | 渡邊 | 邦雄 |
| ・担当地区幹事 | 畑田 | 豊 |
| ・担当地区幹事 | 尾崎 | 敬則 |
| ・事務局長 | 今井 | 貢二 |

2011～2012年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所ご案内】

●事務局スタッフ

ガバナー	岡部	泰鑑
地区代表幹事	境	高彦
地区副代表幹事	渡邊	邦雄
事務局長	今井	貢二
事務局員	栗正	久美
	春名	志保

●休日

土曜、日曜、祝日
 年末年始
 2011年12月29日(木)～
 2012年1月4日(水)

●所在地・電話・ファックス

〒541-0052
 大阪市中央区安土町1-5-11
 トヤマビル東館6階
 TEL: 06-6264-2660
 FAX: 06-6264-2661

ガバナー事務所に会議室を併設致しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

●ホームページアドレス

<http://www.ri2660.gr.jp/>

●メールアドレス

gov@ri2660.gr.jp

●勤務時間

9:30～17:00



※ 地下鉄堺筋線 堺筋本町駅 12番出口すぐ

国際ロータリー第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F
 電話 06-6264-2660 Fax 06-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

6F Toyama Bldg. East 1-5-11 Azuchi-machi Chuo-ku OSAKA 541-0052 JAPAN
 Phone. +81-6-6264-2660 Fax. +81-6-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp